



リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）

リスクアセスメント対象職場		①～③の実施担当者と実施日		④～⑥の実施担当者と実施日		⑦～⑧の実施担当者と実施日							
						社長(工場長) 製造部長 製造課長							
① 作業名 (機械・設備)	② 危険性又は有害性と発生の おそれのある災害※	③ 既存の災害防止対策		④ リスクの見積り		⑤ リスク低減措置案		⑥ 措置実施後の リスクの見積り		⑦ 対応措置		⑧ 備考	
		重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性		
運炭炉への 装入・装出作業	フォークリフトで運搬中、エンジンを切らないで降りて作業をしていたところ、無人のフォークリフトが動いて、そばの作業者が後輪に挟まれて足を骨折する。 クレーンで鋼材を吊り上げた時、錆びた不良ワイヤロープを使用したことで、切断して吊り荷が落下し負傷する。 クレーンで鋼材を吊って走行した時、フックの外れ止レバーが曲がっていったので、ワイヤロープがフックから外れて吊り荷が落下し負傷する。	運転席から離れる時は、エンジンを停止する。 ワイヤロープは廃棄基準に基づき、月例点検をする。 玉掛作業は、地切りの指差し確認を指導徹底する。	×	△	×	△	運転席から離れる時は、エンジンを停止して、鍵を抜いて所定の場所に掛ける。フォークリフトの専用軌道を確保する。 点検基準に基づいて、点検表でチェックする。点検したワイヤロープは、識別リングを取り付けて、混在しないように区分して使用する。 玉掛台図は明確に行い、台図者の待避距離を十分に取る。 地切りの台図は確実に行う。 吊荷のセンターは確実に合わせる。 不良フック外れ止レバーは交換する。	△	△	△	△	年2回のフォークリフト運転実技教育を実施して、安全走行の基本を徹底する。 点検する吊り具の未回収が課題であり、未回収の吊り具の点検方法を検討する。 ●玉掛台図の実技教育を全ラインで定期的に実施する。 ●現場の静止ハルトロープを実施して、吊り荷の下に入らない！	
前処理作業	酸洗槽の通路を歩行時、安全柵が低かったため、通路端の配管につまづいた時に、バランスを崩して槽内に転落し負傷する。 酸洗作業で材料を濡れ替えている時、保護面を着用していなかったため、塩酸が飛散して目に入り炎症する。	安全柵高さは、基準で設置する。(クレーンの掃定関係で安全柵の一部が基準以下であった) 酸洗作業時は、保護面を着用する。	×	△	△	△	安全柵を高くする。 通路の配管を撤去して、通路下に取り付ける。 酸洗作業では、保護面の完全着用を義務づける。 作業前に保護面着用のチェックを徹底する。	△	△	△			
めっき作業	めっき防錆槽で液切りをする為、パイプレーションを作業させた為、吊り荷の番線が切れて落下し負傷する。 めっき作業場の床面が水で濡れていて、足を滑らせて転倒して、足首を捻挫する。 めっき作業をしている時、前掛けの紐がほどけて、機械の駆動チェーンに巻き込まれて負傷する。	番線使用の吊り荷は、パイプレーション作業を禁止する。 作業場は整理・整頓して、床面は清掃するようには指導する。 前掛けの紐は解けないように結んで作業をする。	×	△	×	△	番線使用の吊り荷の使用を禁止する。 吊り環又はジャンャックルを取り付けて、吊り荷の搬送方法を改善する。 作業場が水で濡れない様、作業改善をする。 床面は滑り止めのコーティングを施す。 掛けの結び紐をぶら下げないように横で縛るようには指導する。 駆動チェーン等の回転物には、カバーを取り付ける。 チェーンスリングをはずして反転作業をする。 重量物はクレーンで吊って、安全に反転作業をする。	△	△	△	重量目測による吊り具の選定方法を改善して、クレーンスケール(秤)の導入を検討する。 異形の重量物を乗せて90度反転させられる架台を検討して改善する。 スキットにストッパーの取り付けを検討して改善する。 スキットにストッパーの取り付けを検討して改善する。		
仕上げ作業	重量物の製品にチェーンスリングをつけて反転させた為、片側が張って寄り、製品と製品の間に腕を挟まれて、手を骨折する。 めっきした鋼管をスキット上で手入れ作業時、台図をしないで転がしたの作業で、手の指を挟み骨折する。 遠心分離機の乾燥時、上蓋を開けずに作業をした為、不用意にバケツトに触れて手を挟まれ認識する。	形状の異なる重量物は、無理に反転しない。 作業前のミーティングで注意・指導する。 遠心分離機の上蓋を開けずに作業をした為、不用意にバケツトに触れて手を挟まれ認識する。	×	△	×	△	ミーティングで台図者を一人に決め、台図者は腕章をつける。 指差し呼称による台図確認を徹底する。 チェックリストを作成して、上蓋の確認を徹底する。 上蓋を閉めない乾燥機が回転しない様、インターロック回路に改善する。	×	△	×	×		

災害の重篤度 × = 致命的・重大 △ = 中程度 ○ = 軽度 発生可能性 × = 頻繁・可能性が高い △ = 時々・可能性がある ○ = ほとんどない・可能性がほとんどない  
優先度 III = 直ちに解決すべき又は重大なリスクがある II = 速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある I = 必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある  
※災害に至る経緯として「～なので、～して」+「～になる」と記述